



イマジン
ロータリー

会報

留萌ロータリークラブ会長目標

ロータリーの未来
～ The Future of Rotary ～

2022 ▶ 2023 WEEKLY REPORT

会長／串橋 伸幸 幹事／青山 貴幸

プログラム

- 本日
会員卓話「新会員・我が生き立ち」
伊藤 伸一 会員
- 次週予定
「移動夜間例会」

会員誕生日	配偶者誕生日
田中 美智子	桜元 和佐
宮尾 幸之助	中出 とみ子
関野 紘史	對馬 真澄

【第6回・第7回 合併号】
No. 2927 第6回 8月17日

出席報告

前例会

会員総数	26名
出免会員	4名
出免出席	4名
基準会員出席	19名
出席率	73.07%

例会／毎週水曜 12:15～13:15

幹事報告

- 札幌西RCより、バナーが届いております。
- 深川、赤平RCより、活動計画書を受領しました。
- 深川、羽幌、芦別、赤平RCから、8月の例会プログラムを受領しました。
- 羽幌、深川、赤平、芦別RCから、7月会報を受領しました。

3分間情報

「ロータリーテーマについて」

例会運営委員会 西谷委員長

テーマを作成するという伝統は、1949～50年度ロータリー会長のパーシーC・ホジソンが始めたものです。1949年の国際協議会で、ホジソ

ンは次期リーダーに向けて、「ロータリーの知識を広めるという光栄な機会」を与えられていると述べ、「ロータリーの知識の欠如はロータリークラブの順調な運営の妨げになりうる」と訴えました。ホジソンのテーマは、四つの目標を含め英文で83語。これは現在のキャッチフレーズ的なテーマに比べるとかなり長く感じますが、次期リーダーにロータリーの基本的知識をもって欲しいというホジソンの期待を表しています。

その後数十年にわたり、RI会長はテーマのロゴ・襟章・ネクタイ・スカーフなどを採用しました。テーマのネクタイは1990年代に導入され、毎年作られています。スカーフが最初に導入されたのは1998～99年度です。多くのデザインがその年のテーマロゴを取り入れています。

また、ニュージーランドのウィリアム・ボイ

第5回 8月3日(水) 天候/晴

ド元会長や日本の田中作次元会長などが選んだデザインには、母国を象徴する色やモチーフが取り入れられています。

ニコニコBOX……………

- 8月も皆様よろしくお祈いします。暑い日が続きますが、体調に気を付けてお過ごしください。 申橋会長
- 目の調子も良くなりました。さらに無駄に歳を取りました。 高橋直前会長
- コロナに負けず。暑さに負けず。楽しい夏を過ごしましょう。 武田エレクト
- 良い事がありました。 関野会計
- 良い事がありました。 大嶋親睦活動委員長
- 本日、急きょ例会で卓話をする事になりました。 西谷クラブ運営委員長
- 4回目のコロナワクチン接種、無事終わりました。 福士奉仕プロジェクト委員長

前 回	259,000円
今 回	10,000円
累 計	269,000円

プログラム……………

「会員増強の必要性と問題点」

西谷クラブ運営委員長

ここ数年、10年ほど前ではないにしても全国のロータリークラブで会員の高齢化と会員減少がみられます。地区を見ても会員増強委員会のご努力で年度途中では若干の増加をみますが、年度末の6月末には、50人程度の退会者が出てしまい、統計してみれば現状維持か微増程度にとどまっている現状があります。

クラブ単位や地区全体にしても、この問題に真剣に取り組むように努力されているにもかかわらず、毎年あまり状態は変わりません。これはなぜでしょう？ 既存の会員は毎年必ず一つ歳を取りますから、若い会員の入会が無ければ、平均年齢は毎年一つづつ高齢化は避けられません。

また反面、少し会員増強に無理があった場合、5年以内の退会が目立つのも事実です。毎年新しく若い会員を入れていく事はクラブの活性化に繋がり、避けては通れない課題です。それらの理由としてロータリーの目的や真の魅力、基本理念が何かを知らないまま活動しているので、何らかの些細な事が退会理由である事も多いように思われます。

以前は、各クラブにロータリーの魅力を語ってくれたクラブ長老がおられて、ロータリーの基本知識を教えて頂いたものですが、そのような炉辺会談も世代間の対話が減って来ている現在では、本来の意味での炉辺会談が行われているクラブも減少してきているようです。それを補うようにR Iは、D L P等を推奨して、各種研修セミナーを開催する事が増えて来ました。R L Iなどの手法も取り入れられた地区もあり、それはそれでとても良い事でしょうが、問題は地区の主催する各種研修セミナーに新入会員が全員参加するわけでもなく、各クラブから代表の方が参加されるのが現状ではないでしょうか。それをそのまま各クラブで卓話して頂いたり、クラブでの研修会を行って頂ければ、効果は上がるはずなのですが、そのような事はセミナーに参加された方のロータリー理解度がかなり高い方でないと難しいようで、当地区では地区委員長を輩出しているクラブなどが行っているのが現状ではないでしょうか。

また、地区委員長をお招きして卓話して頂く熱心なクラブもあります。全てのクラブがこのように地道な努力をして頂けたら、5年経過後に新会員の1 / 3が退会してしまう事は無くなるのではないかと願っているのですが…。

現在日本では、団塊の世代の方々がクラブ会員の中心を占めておられる事も多いようで、ここ数年は現在の会員増強もある程度の効果を挙げられるかもしれませんが、しかし現実的には、そのような世代の方は同年齢の人口が年間200万人程度国内におられたのですが、今年の新成人は100万人を割ろうとしているのも現実です。その場合、ロータリー入会の適正な年齢となられる15~20年後には、勧誘する対象も半減する

はずです。だからと言って、ロータリアンとしては誰でも良い訳でもないので、ロータリーに適應できる人材を求めて、勧誘する事は今の数倍の努力が必要となるはずですし、考え方も変えなくてはならないのでしょう。

日本だけでなく、世界の先進国はどこでも同様の問題を抱えているので、R Iも危惧している訳で、若い会員を勧誘すべき方法を工夫しているのでしょう。ローターアクターを会員に迎える事や30歳代会員の会費を半減することなどを、R Iは近く規定審議委員会に提案する予定があるようです。また、ロータリーの魅力を会員ばかりでなく、世界の人々に認知して頂き、無理に勧誘しなくても若い方が自分から入会したくなる組織にしたいという理想を持っておられるようです。しかし私たちの日本のロータリアンには、そのまま素直に理解できにくい面があります。

長くロータリーを繁榮に導いて頂いた先人のロータリアンが築いてこられた基本理念をしっかりとして守り育てていかなくては、どこにでもあるただのボランティア団体になってしまいます。基本理念を守り育てることは、ロータリーの目的であると定款に明記してあります。要するにロータリーを育ててきた誇りを忘れてはなりません。人間には良い人材と交わりを持ち、自らも良い影響を受けロータリアンとしての誇りを持って仕事に取組み、自分を取り巻く取引先か

らの信頼を得て、家族・従業員を幸せに導き、地域社会や世の為に役立ちたいという本能があります。それらの意味でロータリーは、それらの全てが満たされる素晴らしいシステムとなっています。たとえ自分のクラブがブランドクラブではなく、小さなクラブであったとしても、ロータリーの仲間は一生続くのですから、自分の知りえない多大な情報を与えてくれますし、人生の道場のようにも捉える事が出来ます。

これに、同じ地域のグループ内のクラブとの交流もあるでしょうし、地区として考えるならもっと幅も広がりますし、内容も充実いたします。よって会員増強は2～3年程度の短期で考えるのではなく、5年以上の長期計画性に基づいて捉えて頂きたいものです。会員拡大ではなく会員増強なのですから、ただ増やすばかりでなく会員をロータリアンとして育て、会員の皆さんと共に自分のクラブを活性化して、一生を振り返り“自分がロータリークラブに入っていて良かった”と思えるように育てていけるのなら、会員数の多少の増減はあまり問題ではないと思えます。しかし、常に新しい会員を迎える姿勢を持ちつつ、基本理念を共有できる方なら会員の多様性を認めてあげる事も大切ではと思っております。

交通安全旗の波運動に参加

7月22日(金)16:30～

< 奉仕プロジェクト委員会 >



プログラム

- 本日
「移動夜間例会」
- 次週予定
「あんどん準備例会」



【第6回・第7回 合併号】
No. 2928 第7回 8月24日

出席報告

前例会

会員総数	26名
出免会員	4名
出免出席	3名
基準会員出席	19名
出席率	76.00%

例会/毎週水曜 12:15~13:15

📰 幹事報告

- 留萌地域人材開発センター運営協会より、パワスポだよりを受領しました。回覧致します。
- 2510地区の地区大会で留萌ナイトを開催予定です。多くの会員の参加を期待します。詳しいことは後ほど皆様にお知らせ致します。

- ガバナー月信ファイナルに出ました。

鈴木会員

- 無事、帰還しました。つくづく他人事では無いと実感しました。今まで以上にコロナ対策に留意してお過ごしてください。

伊藤会員

- お祝いありがとうございます。45歳になります。白髪が少し増えました。健康に気を付け良い1年にしていきます。

関野会員

👤 委員会報告

奉仕プロジェクト委員会 福士委員長

やん衆あんどんの開催日が変更になりました。時間も変更になりましたので、再度皆様に出欠の確認をさせていただきます。ご家庭の配偶者、子供、お孫さんの出席も歓迎致します。FAXにて出欠を取りますので、よろしくお願い致します。また、1週間前からの準備日程と一緒に送付しております。ご協力のほど、お願い致します。

前回	269,000円
今回	7,000円
累計	276,000円

📖 プログラム

会員卓話「我が生き立ち」

伊藤 伸一 会員

改めまして、皆様こんにちは。無事コロナより帰還しました。今年7月に入会致しました留萌信用金庫の伊藤でございます。この度は、我が生き立ちということで貴重な機会を与



えていただき、ありがとうございました。幸いにも先月25日から今月3日まで自宅療養期間がありましたので、改めて自分を振り返ることが

🗨️ ニコニコBOX

- 暑い日が続きます。お体に気を付けお過ごしください。伊藤会員、本日の卓話よろしくお願ひします。 串橋会長
- 8月3日の例会欠席してしまい、申し訳ございませんでした。コロナは大丈夫でした。 青山幹事
- 少しだけ良いことがありました。 大嶋会員

出来ました。今回このような機会を与えていただき、少しでも皆様に私を知っていただければと思いますので、少しの時間お付き合い願います。

私は、昭和39年1月に伊藤家の長男として増毛町阿分村で生まれました。どのように生まれてきたのかはまったく記憶は無く、産婆さんに引っ張られて生まれたとは聞きました。両親は阿分にて伊藤商店という個人商店を営んでおりましたが、現在は30年前にセイコーマートとして舎熊に移り、3歳年下の私の弟がセイコーマート増毛店として経営を続けております。阿分の実家には現在母親が住んでおります。今でもポットントイレがあります。私が小さい頃、トイレに行く途中に仏壇があり、仏壇が怖くていつもその廊下を走ってトイレに行った記憶があります。小さい頃は、海水パンツ一丁で海中眼鏡とシュノーケルと足びれを付けて、前浜でがんばり、アワビ、なまこなどを採って焚火をして焼いて食べていた記憶がございます。午前中は海水浴で、昼からは学校に行って野球をやっておりました。野球といっても人数が少ないので、ホームベースと1塁の間を少し長くして1塁戻りだとか、人数が多い時は2塁を外して、三角ベースなどで野球をやった記憶がございます。それと皆さん、複式学級というものを知っていますか？私の同学年は11名位おりましたが、1個先輩の学年は4名しかおらず、4年生の時に4年生と5年生が一緒のクラスで勉強を受けた記憶がございます。その頃あまり自覚はありませんが、一人の女の子にチョッカイをかけており、それが初恋だったのかなと今でもしっかりと名前を覚えております。その後、増毛第二中学校に入りまして、それなりのエピソードがございますが、時間の都合上省略させていただきます。

人生の分岐点となった高校への進学では、当時同学年の大半は増毛高校に通いましたが、ごく僅かに頭の良い者が留萌高校へ通うのが通例でした。私も当然増毛高校へ通うつもりでしたが、親の勧めで留萌高校へ入学することになりました。初めは友達も少なく、直ぐには野球部

に入りませんでした。小さい時に野球やビー玉で遊んでもらった1つ上の先輩で相馬さんという人がクラスに来てくれて、「野球部に入れ」と声を掛けてくれまして、野球部に入部しました。昭和55年・56年の2年間、旭川地区の代表として北北海道大会に勝ち進むことができました。最後の年は北北海道の優勝候補と準々決勝で当り、そこで敗れてしまい甲子園の夢もそこで終わりを告げました。卒業して40年経ちますが、今でもその仲間10人程度ですが、良き仲間として付き合い合っております。

就職については、私自身大学進学をまったく考えておらず、就職一本で考えておりました。担任の先生が就職担当でしたので、「留萌信金から就職の募集が来ているからどうだ」と言われ、何の迷いもなく受けることに致しました。無事内定をいただき、昭和58年4月に留萌信金に入りました。この頃は多くの生徒を募集しており、仲間13名のうち4名が同じクラスの生徒で、現在もそのうちの仲間5名が残っております。私の前の小原も学校は違いますが同期でございます。当時就職試験の問題で記憶に残っているのが、社会の問題だったと思いますが、「世界一長い鉄道はどこか？」という問題があり、当時テレビで流行っていた銀河鉄道999というものがありました。何を血迷ったか“銀河鉄道”と回答欄に書いた覚えがあります。確か答えは“シベリヤ鉄道”だと思いますが、よく合格したと思います。

就職後も趣味だった金庫の野球部に入部して、ピーク時には年間40試合位こなしました。地元留萌野球連盟ではA級に昇格したり、毎年行われていた同業の信金野球大会では2年連続で優勝したこともあります。残念ながら、私は33歳の時に現役と監督を引退しました。今では野球ができる職員も少なくなりましたので、留萌野球連盟を脱退し、信金野球大会への参加は大会の2～3か月前に集まって練習し、練習試合を2・3試合こなし、後は本番1本という感じでした。今年7月に11年ぶりに留萌が当番金庫となりまして、道北地区の信金野球大会が浜中球場で開催されました。私自身、今年まで総監

第6回 8月17日(水) 天候/晴

督という立場で野球部に関係していましたが、今年でお役目御免と思っております。

就職につきましては、最初は鬼鹿支店でございまして、その後、野球をやっていた関係で駅前支店、沖見支店、増毛支店など留萌管内の勤務がほとんどでありました。鬼鹿支店で勤務している時に現在のカミさんと一緒になりました。出会いのきっかけは、小平と鬼鹿の若者で1泊のスキーツアーを当時行っており、現在の合コンとは少し違いますが、そこで知り合った妻と昭和61年9月に結婚を致しました。2年後に長男、その3年後に長女が生まれ、外孫になりますが、長女の所に8歳と6歳の女の子の孫がいます。

平成9年に初めて管外勤務になりまして、旭川の東支店勤務を経て、平成20年4月に初めて札幌勤務となり、西支店に1年、新川支店に2年勤務しました。その翌年に再度旭川支店、札幌支店を経て、48歳の年に初めて支店長を任され、増毛支店を経験させていただきました。その後は旭川に戻りまして、旭川東支店長6年、旭川支店長2年を経て、今年4月に41年目にして初めての本部勤務となりました。留萌市内に勤務するのは実に27年ぶりとなります。営業畑40年一筋でやってきましたが、まったく本部勤務は初めての経験でしたが、それは別世界、別の会社で仕事をしている感覚で営業店とは違った内容に戸惑いもありましたが、何とかお陰様で慣れてきております。

金庫の定年は60歳で、今年58歳。定年まであと2年。後は転勤は無いだらう、このまま旭川支店長を全うして定年後は嘱託でと、今年で住宅ローンも完済しますので、そのまま旭川支店で仕事を全うし、仕事では時間が来たらお先に失礼しますと帰る、そんな老後の人生設計を考えておりました。本部に転勤という1回目のまさか、そして今年6月に常勤理事となった2回目のまさかでございます。私が役員として勤めるということは想像もしてなくて、まさかまさかの経験をしております。

今テレビでACジャパンの宣伝で87歳になる若山雅子さんという方が、「とにかくバッター

ボックスに立ってバットを振ってみようと思ったのです。そしたら当たってしまったんです。自分もビックリです。本当に人生は分からないものです。だから自分の未来に蓋をしてはいけません。何歳からでも人は変れる。」と、まさしく今私が実感していることです。人生100年時代と言われておりますが、今当たり前だったことが当たり前でない時代を迎えております。今年転勤により留萌ロータリークラブに入会し、皆様と交流する機会をいただきました。今の出会いを大切に、また今までの出会いも大切に、皆様と共に地域に貢献できるように、出来ることを出来る範囲内で取り組んで参りますので、よろしくお願い致します。

まとまりのない話になってしまいましたが、私の「我が生い立ち」と致します。ご清聴ありがとうございました。

